

# SC・RSC・RSCP杭 杭頭カットオフ工程比較表

[>>土木用杭材料ページ](#)

名称	SCDB(従来方式)	RSC	RSCP	
製品写真及び施工フロー	 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 鋼管レベルカット</li> <li>↓</li> <li>② パイルクラッシャー</li> <li>↓</li> <li>③ 鋼管ガス溶断</li> <li>↓</li> <li>④ コンクリートブレーカー</li> </ol>	 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 不要</li> <li>↓</li> <li>② パイルクラッシャー</li> <li>↓</li> <li>③ 不要</li> <li>↓</li> <li>④ コンクリートブレーカー</li> </ol>	 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 不要</li> <li>↓</li> <li>② 不要</li> <li>↓</li> <li>③ たがね</li> <li>↓</li> <li>④ クレーン吊上げ</li> </ol>	
工程写真				
施工	打撃・中掘(最終打撃)	○	打撃・中掘(最終打撃)	×
	中掘(セメントミルク)	○	中掘(セメントミルク)	○
	中掘(コンクリート打設)	○	中掘(コンクリート打設)	○
	プレホーリング	○	プレホーリング	△ ※要検討
長所	杭材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製造・施工実績は3ケース中、最多である。</li> <li>・全ての工法に適用可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外殻鋼管が削除されるため、杭材料費が安くなる。</li> <li>・杭頭レベル(SC-RC境界部)に座板があり、杭頭鉄筋の配置精度に優れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外殻鋼管が削除されるため、杭材料費が安くなる。</li> <li>・杭頭レベル(SC-RC境界部)に座板があり、杭頭鉄筋の配置精度に優れる。</li> </ul>
	カットオフ	・無し	・コンクリート部のはつりのみ。※鋼管カッターが不要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋼管カッターが不要であり、現場作業エリア外(締切り外)ではつり作業が可能で、カットオフ工期が現場工程に影響を与えない。</li> <li>・現場(締切り内)がきれい。</li> </ul>
短所	杭材	・全長(カットオフ部含)SC杭として製作するので杭材料費が高い。	・適用工法が中掘杭(セメントミルク・コンクリート打設)に限定される。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杭頭鉄筋部の加工費用がUPする。</li> <li>・適用工法が中掘杭(セメントミルク・コンクリート打設)に限定される。</li> </ul>
	カットオフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カットオフ費用が高い。(鋼管レベルカット、鋼管カット費用が発生)</li> <li>・3ケース中、最も工期が長い。</li> <li>・現場作業エリア内(締切り内)ではつり作業の為、現場がよごれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PHC杭同様のコンクリート部のはつり作業が現場で発生する。</li> <li>・現場作業エリア内(締切り内)ではつり作業の為、現場がよごれる。</li> </ul>	・無し
順位	3	2	1	
工期	3	2	1	
総合評価	△	○	◎	

## 《適用範囲》

RSC : φ 600~φ 1200 L=5m~15m(RC部・SC部の合計長)@0.5m

適用鋼管厚は、御相談下さい。

RSCP: φ 600~φ 1000 杭長・板厚に関しましては、御相談下さい。

## 《杭姿図》

